

ハイランドレポート  
(高原通信)

# Highland report !?

D.A.R.C 那須ヶアセンター・ニュースレター

第10(2004. 1. 19)

## 本人はダルクへ!!家族は家族会へ!!

ダックスとちぎ

世話人代表 京極明子

明けましておめでとうございます。

20数年ぶりに、あっお正月なんだなあ…… と実感しています。

こんな日が自分に訪れるなんて考える事ありませんでした。ただ時の流れに流されて、普通の顔をして感情はしっかり忍耐という袋の中に押し込めてただ親としての責任を果たす事だけに生きて来たのです。もうこれ以上は出来ない、倒れても、倒れても、不死鳥のごとく起き上がり、あーしたら、こうしたら、と考えるの及ぶかぎりを作りつくりしてまいりました。

25ヶ月前、共依存の権化の私も、体力、気力、財力、全てに底をつき、茨城家族会に辿り着きました。ビギナールームで薬物依存症と共依存症をまなび、岩井氏のカウンセリングを受けました。

家族と本人を混えて話し合い、本人の自立の為、親子、姉弟の縁を切ることにしました。本人に対し、母親としての愛の全てを本人にそそぐ最大の方法がダルクに送る事につきると話し、今後回復する迄、絶対に逢う事をしないと宣言し、親子共々この25ヶ月守り通し、本人はダルクを4日で退寮し、妻子7人を守り生活しているとの事、私は茨城家族会に通い続け、12ステ

ップ、平安の祈りを学び日々実践してまいりました。初めは心の中で仲間たちの批判を試みたり、馬鹿にしておりましたがステップを実践して行くうちに自分の愚かさに気付かされると同時に、自我意識の強い私にこのステップに出会うまで、薬を使いつづけてくれた本人に対して、心の底から感謝の念が湧き上がって来たのです。本人と再会できる日まで、12ステップを血肉として私は本来の自己に立ち戻り自分らしい生き方を見つけ、堂々と楽しい人生を生きとおす事が1番と考えられる様になり、自分だけで無く、多くの苦しんでいる家族の方々に12ステップを伝える役割を与えられたと気付きました。

「栃木県にダルクが出来るかも!!」と話しを聞いたときから、地元にも家族会を作ろうと決意しました。学びの浅い私は月1回の茨城家族会だけでは回復が遅いと、静岡へ郡山へと足を運び、学ばせていただいている時、那須ケアセンターを軸とした家族会設立の話が持ち上がり、いつの間にかその中心に自分がいたのです。準備委員会を重ね、昨年6月21日茨城家族会ビギナールームでダックスとちぎ設立総会を開きました。

本年1月3日に7回目の家族会が開催されました。ダックスとちぎは家族の為の家族会を基本に、学び合い、語り合い、癒し合う、そしてまず自分が共依存症から抜け出し、本当の自己に立ちもどる、私達家族の安心出来る居場所でありつづけたいと念じています。

栗坪氏は毎回、岩井氏は都合のつく限り参加してくださり、又、太田氏の自分探し勉強会も3回していただき終了いたしました。県の内外を問わず多数の先き行く仲間たちの力を得て、自分探しをつづけて行きたいと考えています。自分に対して正直にそして全てに対して感謝出来る自分になりたいと考えています、悩んでいる御家族と、そして自分達の成長の場となるダックスとちぎで有続けたいと、世話人一同、常に話し合うことを守ろうと誓い合っています。どうぞダックスとちぎへお運び下さい、心よりお待ち申し上げます。



## 必要な場所

### 依存症のロック

僕が最初に出会ったドラッグはシンナーです。中学2年生の頃、先輩に誘われてシンナーをはじめました。最初の頃は、自分自身でははまっているような気がしませんでした。気がついたら、中学校を卒業する頃には1人毎日、吸うようになり、シンナーを吸う事は生活の一部になってしまいました。そして、16才の頃からシンナーだけじゃなくて、色々なドラッグに興味を持ち、市販薬や処方薬も乱用するようになりました。この頃からジャンキーを崇拝するようになり、立派なジャンキーを目指して何人かの友達とクスリを楽しんでいました。

そして18才になって、大本命の覚せい剤を覚えました。1番最初に使った時の事を今でも鮮明に覚えていて、俺にはこれしかないという感じでした。シャブを使うと何もかもうまくいくような気がするし、自分が目指しているジャンキーに近づいているような気がして、それがないとジャンキーではなくなってしまうと思い、シャブを手に入れることに日々執着しながら生活をしていました。

そんな生活を12年間続け、今、30年間生きていますけど、やっぱり覚せい剤以上に感動をおぼえた事はありません。シャブのとりこになってから、3年間位はとても楽しく使っていたのですが、使い始めてから3年位たった頃から、追跡妄想や被害妄想など色々な妄想がはいつてきて、完全によれてしまい、精神病院に入院するようになってしまいました。2ヶ月間入院しましたがクスリは止まりませんでした。

その後も定期的にシャブを使って生活をしていき、23才の時から



3年間つきあっていた彼女と結婚する事になって、子供も1人できて、一時クスリは止まったのですが結婚生活を続けて、3年位たってからまたクスリに手を出してしまい、家族を手ばなす事になってしまいました。今でも、娘のことは気がかりでしかたありません。

今まで覚せい剤で、大切な物を色々と失ってきましたが、家族を失った事は本当にショックでした。今までに覚せい剤をやめようと思い、お酒を飲んでみたり、大麻を吸ってみたりしましたが、やっぱり覚せい剤を求めてしまって、色々と試しましたが、結局クスリは止まりませんでした。そして去年ついに、初めて覚せい剤取締法違反で逮捕されました。失敗したなど、言う気持ちになり、次はうまくクスリを使ってやろうとか、やめる気はまったくありませんでした。そんな気持ちの中、留置所と拘置支所での生活が3カ月半続き判決の日を迎えました。

判決は、懲役2年6ヶ月、執行猶予4年でした。弁護士と親の勧めで、ダルクと言う施設があると聞いて、半強制的にダルクにつながりました。1度、施設を逃げ出し、まだクスリを使えると思い覚せい剤を使用しましたが、社会での生活をするのにクスリを使ってはどうにもならなくなり、またダルクに戻ることに自分で決めて、助けを求めました。

ダルクは本当につまらなく、やっていられない所だと思いますが、自分にとって少しは必要なところだと最近、感じ始めています。これからは少しでも早く社会に出られるように回復していきたいと思います。



## 週間プログラム

日	土	金	木	水	火	月	曜日 時間
起床 7:20 ・ 朝食 7:30							
● セルフケア	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ● ミーティング スタッフ ミーティング	午前(九時～十時半)
	作業班・調理班の仕事・昼食 等						
	● セルフケア	● オキベイシヨナル プログラム (山林作業・パソコン)	● ● ステップミーティング コンゲーム	● ● スポーツプログラム (那須のスイミングドーム)	● ● ハウス ミーティング 洗車		午後(一時半～三時)
夕 食							
● 須賀川カトリック教会 (第一・三日曜日)	● 施設ミーティング	● 大田原カトリック教会	● 施設ミーティング	● 那須カトリック教会	● 施設ミーティング	● ● 松が峰カトリック教会 (宇都宮) 郡山細沼教会	NAミーティング
就 寝 23:30							



### 年末献金・献品をいただいた方

益田マユミ様 高橋美紀様 カトリック烏山教会様 ダックスとちぎ様  
富士山鈴男様 小野寺美也子様 水井清次様 福田澄夫様  
工藤和昭様 那須ケアセンターを支援する家族会様 長谷川清恵様  
伴 隆様 佐藤忠雄様 柳田一芳様 聖血礼拝修道女会様  
秋田ダルク様 川上悦男様 俵 和子様 那須トラピスト修道院様  
吹田九平様 岡田三男様 腰高和秀様 鈴木淑子様 鈴木洋子様  
沢幡治雄様 小浜健二様 篠塚 愛様 荻野祥子様 佐藤 博様  
宇都宮修道院様 飯島 博様 向井勝實様 匿名6名様

### お礼

年末献金ならびに献品を那須ケアセンターに、いただきありがとうございました。なんとか新しい年を迎えることができ、心より感謝しています。本当にありがとうございました。

### 支援会員募集のお知らせ

昨今、社会問題の一つとして若年層者の薬物使用の増加が叫ばれています。薬を止められなくなってしまった人達の回復の場として、那須ケアセンターは薬物乱用防止の一役割を担っていると自負しております。しかし、いまだ補助制度の利用が出来ない状態なので、皆様のご協力が必要です。ぜひ支援会員となって薬物依存者の回復にご協力下さい。

年会費一口五千円より ※別紙払込表でお申し込みお願いします。